

教育研究所だより

令和7年2月号



発行
岡崎市教育委員会
教育研究所
☎83-7770

子供の豊かな学びの場は、教師が豊かに学ぶところから

学校指導課指導研修係 大洲 壮一朗

今の教育環境は常に変化しており、教師もまた常に学び続けることが求められています。新たな教育技術や方法、教育政策の変化に対応するには、教師も絶え間なく学び続けることが大切です。

最新の教育技術を学ぶことで、個別最適な学びや協働的な学びの一体的な充実を図れたり、子供の学習意欲を向上できたりなど、よりよい授業を実現できます。何より、教師自身が新たな発見や成長を感じることで、教育への情熱を維持できるのです。

各校で行われた研究発表会に参加し、授業を参観し、その後の授業を語る会で意見を出し合うことも、教師の学びと言えます。他の教師の授業を参観することで、新たな視点や手だてを学ぶことができます。また、授業を語る会での意見交換を通じて、教師同士の知見を共有し合うことができます。

一月上旬には、市教育研究論文の提出がありました。応募数は個人の部、共同の部合わせて、三百三十三点でした。教育研究論文の作成過程では、自らの教育実践を深く考察し、手だての有効性や改善策を探究することが求められます。「私の授業で最も効果的だった手だては何か」「子供がどのように成長できたか」など、自己の授業を再評価し、より効果的な教育方法を見出すことにつながります。教育研究論文の作成を通じて、自らの授業力をさらに高めることができます。

教育基本法第九条には、「法律に定める学校の教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努める」とあります。研究発表会の参加や教育研究論文への取組は、教師の「主体的・対話的で深い学び」です。子供の「主体的・対話的で深い学び」を実現するためには、私たち自身がそのような学びの姿勢を身に付ける必要があります。子供の豊かな学びの場は、教師自身が豊かに学ぶことによって生まれるものです。



中堅教諭等資質向上研修

岡崎市では、5年または10年を経過した教員を対象に、教育公務員特例法第24条に基づいて、教員の資質向上と使命感を養うとともに、専門性の向上、得意分野の伸長を図ることを目的として「中堅教諭等資質向上研修(全5回)」を行ってきました。

1月29日に行われた「生徒指導総括」の研修をもって、本年度のすべての研修が終了しました。

研修を受けられた先生方が、各学校で益々活躍されることを願っています。



2月 休館日のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
休館	休館	○	○	○	○	○
2	3	4	5	6	7	8
休館	休館	○	○	○	○	○
9	10	11 建国記念の日	12	13	14	15
休館	休館	休館	○	○	○	○
16	17	18	19	20	21	22
休館	休館	○	○	○	○	○
23 天皇誕生日	24 振替休日	25	26	27	28	1
休館	休館	休館	○	○	○	○

※月曜日が祝日や振替休日の場合、火曜日が休館日になります。

3月 休館日のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
23	24	25	26	27	28	1
休館	休館	休館	○	○	○	○
2	3	4	5	6	7	8
休館	休館	○	○	○	○	○
9	10	11	12	13	14	15
休館	休館	○	○	○	○	○
16	17	18	19	20 春分の日	21	22
休館	休館	○	○	休館	○	○
23	24	25	26	27	28	29
休館	休館	○	○	○	○	○
30	31	1	2	3	4	5
休館	休館	○	○	○	○	○